

群馬県立県民健康科学大学大学院

看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

2026年度 一般選抜・社会人特別選抜試験問題

小論文試験問題

群馬県立県民健康科学大学大学院

小論文試験問題 問題用紙

以下、（公社）日本看護科学学会「看護学を構成する重要な用語集の『コミュニケーション』」の文章を読み、各問に答えなさい。

コミュニケーション communication

コミュニケーションとは、「伝える」「分かち合う」あるいは「共有する」という意味のラテン語「communicare」からきた言葉であり、言葉・文字、その他視覚・聴覚に訴える身振り・表情・声などの手段によって、人間や動物が互いに感情や思考などを伝達し共有することをさす。

コミュニケーションは、言語的要素（言葉・文字）と、非言語的要素（表情、しぐさ、声の調子、姿勢など）に大別される。非言語的メッセージは言語的メッセージに比べ、無意識の行動によるものであり、感情をより正確に表すと考えられている。コミュニケーションの過程には、刺激、送り手、メッセージ、伝達経路、受け手、の5つの構成要素が存在し、これらはコミュニケーションの効果に影響を与える。送り手は、受け手の年齢や発達段階、言語の認知能力、聴覚・視覚などの知覚能力に合わせて、メッセージを具体的に表現する必要があり、受け手は、音や文字、しぐさや表情などによるメッセージを、受け手の感覚を通して知覚し、解読する能力が必要である。

コミュニケーションは、信頼関係の構築が必要な看護場面で、欠くことのできないものである。

（出典）

日本看護科学学会. 看護学学術用語検討委員会.n.d. JANSpedia－看護学を構成する重要な用語集－. コミュニケーション. 一部改変

<https://www.jans.or.jp/glossary/communication/>（2025年6月5日閲覧）

問1 日頃の看護実践において、下線部分のように信頼関係の構築が必要と感じた看護場面を想起し、その状況を150字以内で述べなさい。

問2 問1の看護場面をふまえて、問題文の語句を用いて、コミュニケーションに関する自分の考えを600字以内で述べなさい。

受験番号	氏 名

										150									

A full page of blank graph paper with a uniform grid of small squares. The grid consists of 20 columns and 20 rows, totaling 400 squares. The lines are thin and black, creating a clean, uncluttered background for drawing or writing.

次ページに続く

群馬県立県民健康科学大学大学院
看護学研究科看護学専攻(博士前期課程)
2026年度 一般選抜・社会人特別選抜
小論文試験問題 解答用紙2

受験番号	氏 名

問2 (続き)

																					400
																					500
																					600

※ 得点

注 意 事 項 （小論文試験）

- 1 小論文の試験時間は、9時20分～10時50分です。
- 2 試験問題用紙の表紙が願書提出時の選抜区分であることを確認してください。
- 3 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。下書きは用紙の余白をお使いください。
- 4 すべての解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 5 解答は、すべて解答用紙に記入してください。ただし、※印欄には記入しないでください。
- 6 問題用紙・解答用紙に不鮮明な部分や汚れなどがある場合は、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 7 試験中に質問や用便などの用件がある場合も、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 8 試験開始後は途中退室を認めません。
- 9 解答用紙を持ち帰ることはできません。
- 10 不正行為や、他の受験生に迷惑となる行為をした場合は、退場させることがあります。